

現代社会論Ⅱ

科目ナンバリング SOC-104
選択 2単位

大川 清丈

1. 授業の概要(ねらい)

現代社会論Ⅰから引き続き、「頑張る」ということばを切り口にして、日本社会のありかたへアプローチする。
「頑張り」から見た日本戦後史、「頑張らない主義」という価値観、儀礼としての「頑張り」＝努力主義について解説する。

2. 授業の到達目標

- ①現代社会、特に現代日本社会への理解を深めることができる。
- ②自分の見方は一つの見方であり、別の見方もある、という自己相対化の認識を獲得する。

3. 成績評価の方法および基準

授業中のリアクション・ペーパー(30%)、小テスト(20%)、期末試験(50%)

4. 教科書・参考文献

教科書

大川清丈 『がんばること／がんばらないことの社会学——努力主義のゆくえ』2016 ハーベスト社

参考文献

参考文献は使用しない。

5. 準備学修の内容

授業内容に関連する文献等を自主学習すること。
MELICで図書を検索し借りること。

6. その他履修上の注意事項

現代社会論Ⅰと併せて履修すること。
自分なりの現代社会論を見出してほしい。
授業中に配布したプリントはファイルしておくこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 「頑張り」＝努力主義 序論
- 【第3回】 「頑張り」から見た日本戦後史(1)アメリカ・モデル
- 【第4回】 「頑張り」から見た日本戦後史(2)平等の日米比較
- 【第5回】 「頑張り」から見た日本戦後史(3)占領・復興期
- 【第6回】 「頑張り」から見た日本戦後史(4)高度成長期
- 【第7回】 「頑張り」から見た日本戦後史(5)高度成長期以降
- 【第8回】 まとめと小テスト
- 【第9回】 「頑張らない主義」の台頭
- 【第10回】 儀礼としての「頑張り」＝努力主義(1)格差社会論
- 【第11回】 儀礼としての「頑張り」＝努力主義(2)日常生活の社会学
- 【第12回】 近代社会における「努力」(1)属性主義と業績主義
- 【第13回】 近代社会における「努力」(2)メリトクラシー社会
- 【第14回】 新聞記事から見る「頑張り」
- 【第15回】 まとめと試験